

科 目 名		学年		
制御情報工学セミナー: Seminar on Intelligent System Eng		1S		
教 員 名 制御情報工学科 全教員				
単位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
1	90分×15回	履修	講義・後期	—
授業概要	制御情報工学科の専門教育の内容、卒業後の進路(就職と専攻科・大学編入)について、それらの概要を説明する。高専5年間で何を学び、将来どのような分野の仕事に携わるのかを把握させる。専門教育の内容については、各教員から担当科目の概要とカリキュラム上の位置付け・関連性などについて説明を受け、これからの学習に興味や好奇心を持たせる。			
到達目標		評価方法		
(1) 制御情報工学科が目指している技術者像がイメージできること。 (2) 今後の専門教育に興味や好奇心が持てること。		①中間試験、②期末試験により評価する。 評価配分は、①50%、②50%とする。		
学習・教育目標		(A)	JABEE基準1(1)	
授 業 計 画	回	項 目	内 容	
	第1	学科・授業の概要 (学科長)	授業の目的、実施方法について説明する。 また、制御情報工学科の理念、概要、特徴を説明する。	
	第2	工学系基礎(1) (担当: 勝田)	数式処理ソフトMAXIMAを使って最新のソフトウェアの使い方を習得する。	
	第3	工学系基礎(2) (担当: 三谷)	画像処理技術の基礎として、画像の色の表現方法について理解する。	
	第4	工学系基礎(3) (担当: 久保田)	グラフの描き方や正しい文章の書き方などを学ぶ。 また、最近の研究の話題を紹介する。	
	第5	先輩の話(1) (担当: 田辺)	プログラミングコンテスト、ETロボコンなどの各種コンテストに参加した先輩からコンテストの紹介を受ける。	
	第6	先輩の話(2)	就職・進学活動の報告や、日常の勉学に対する心構えなど、先輩の話を聞く。	
	第7	各実験室の視察	5班に分かれて各実験室を順次視察する。	
	第8	中間まとめ	中間試験を行う。	
	第9	山根	人材として求められる要件と進路について考察する。	
	第10	杉本	レポートの書き方について概説する。	
	第11	落合	身の回りにある工具の名称とその使い方について説明する。	
	第12	三宅	進路について説明する。	
	第13	米澤	実験(計算)値の見方	
	第14	各実験室の視察	5班に分かれて各実験室を順次視察する。	
第15	まとめ (学科長)	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
自学自習の内容		課題を課す		
関連科目				
教科書		使用しない		
参考書				
授業評価・理解度		最終回到授業評価アンケートを行う。		
副担当教員				
備考		必要に応じてプリントを配布する。		